

都市計画道路沼津南一色線設計競技における提案

株式会社エイト日本技術開発 正会員 ○柗木 洋子

はじめに

2019年度に沼津市により実施された「都市計画道路沼津南一色線設計競技」において、幸いにも(株)エイト日本技術開発と(株)イー・エー・ユーとの設計共同体、および協力者二井昭佳(国土舘大学教授、文化財保存計画協会)からなるチームが最優秀提案者に選ばれた。本提案内容について、設計チーム内での議論、葛藤などを含めて報告する。

コンペで求められたこと

コンペの募集要項より、概要を以下に示す。

都市計画道路沼津南一色線は、沼津中心市街地の玄関口に位置する最も重要な南北道路である。平成8年度から事業着手、工事が進められてきたが、道路用地内に考古学上きわめて価値の高い高尾山古墳が発見されたことから、道路と古墳の両立に関する協議会において検討が行われ、新たな整備案として北進をトンネル、南進を橋梁とすることが示された。また、「道路と古墳を含む周辺までを一体的な空間として設計し、質の高い整備を行うことで、良好な景観形成を図る」という目的を達成するために設計競技方式により設計業務を進めることとなった。

提案の対象範囲と制約条件

提案の対象範囲と要求事項を図-1 および表-1 に示す。

表-1 要求事項

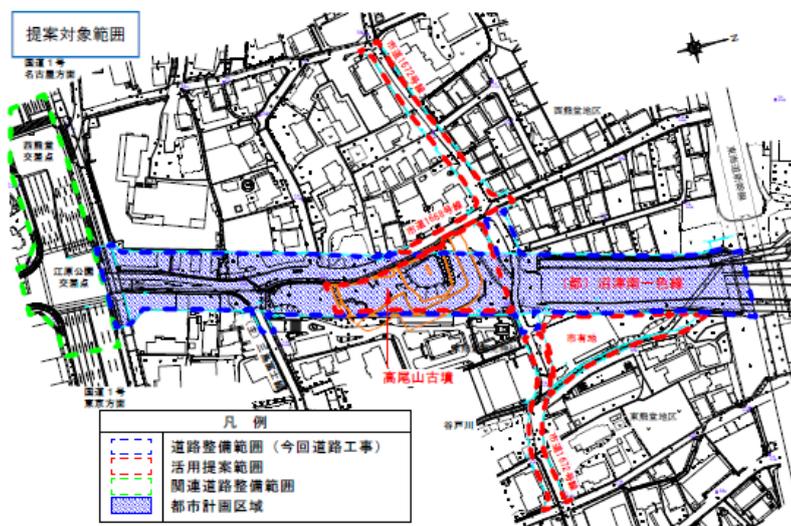


図-1 対象範囲

- (1) デザインコンセプトおよびマスタープラン
 - ・古墳中心の道路空間創出、近隣地区との調和についての提案
- (2) 道路構造物に関すること
 - ・安全かつ円滑な交通確保、古墳を含む周辺と一体的な空間の提案、構造計算結果
- (3) 古墳・隣接市有地に関すること
 - ・古墳の保存・復元および市有地・道路空間を含む利活用の提案
- (4) 実現可能性に関すること
 - ・古墳および周辺への影響が少ない施工方法、確実かつ容易な維持管理方法の提案、概算工費の算出

なお、全体工事は税込40億円以下とすることが条件として明示された。

提案のデザインコンセプト

テーマである『道路と古墳と周辺地域の一体的な整備』を受けて、以下の4つのデザインコンセプトの下、道路、橋梁、トンネル(非開削函渠工)古墳の保存と周辺の一体的整備および利活用を提案した。

1. 時を超え、地域のこころの拠りどころでありつづける場所づくり
2. 古墳のある日常風景で、古墳の愛着が高まる場所づくり
3. 暮らしを支える、歩行者優先の街路ネットワーク
4. 古墳を保全し、その魅力を引き立たせる橋とトンネル

キーワード 設計競技、古墳、みちづくり、空間整備、デザイン

連絡先 〒164-8601 東京都中野区本町5丁目33番11号 株式会社エイト日本技術開発 TEL 03-5341-5144

